



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

小平一橋学園雲母保育園



テーマ【世界は広い、地球は大きい】

設定した理由・背景

英会話でフィリピンという国の存在を身近に感じて以来、他にも国があることを感じ取っていた。ちょうどその時期ペットボトルのキャップの柄の違いを面白がって並べたりしわけてたりする遊びが流行っていたので、国にもデザインの違う旗があることを知った子どもたちは国旗への興味が高まったため。

用意した環境設定

世界の図鑑、国旗の本、画用紙、クレヨン

活動のあゆみ

毎週火曜日 15分間オンライン英会話

8月 英会話スペシャル「festival」

10月 英会話スペシャル「dance」

2月 英会話スペシャル「toy」

自由遊びの時間に、国旗の探求として、図鑑を見たり国旗の写し描きなどをして、国名と国旗を覚える遊びや、運動会の競技に国旗を取り入れた。

✽探究活動の実績✽

①英会話活動をする中で、日本語以外の言語や国旗の違い、食べ物や季節の行事などに興味を示す姿があったためテーマとして設定した。

②毎週のオンライン英会話活動を実施。外国人講師との英語でのコミュニケーションや、子どもたちが聞きたいこと・知りたいことを準備し講師に質問をする機会を設定した。初めて見る・聞く・知ることが多く、そこから興味関心に繋がり、もっと詳しく知りたいという気持ち芽生えていった。

③英語、外国の文化を学び、教えてもらうことで日本らしさや日本特有のものがあり、世界の国々が自分たちと同じとは限らないことに気づく様子が見られた。いろいろな国旗があることを知り、色合いや模様やその意味に関心を持ち、図鑑を使って国名を覚える様子があった。覚えた国が世界地図のどこにあるのか、保育者や子ども同士一緒に調べたり、自分で探したりする行動が見られた。調べた国旗の写し描きをし並べたところ、色やマークが似ている（ほとんど一緒）もの、形が四角だけではないことを発見した。興味をもった国について、どんな動物がいるのか、食べ物があるのか、様々な部分に興味を持ち、自分で図鑑や本で調べたり、講師に質問をして知ろうとする姿が見られた。

④英会話活動を通じて異文化だけでなく、国旗から国の場所、その国の文化など発展して興味をもつ姿が多く見られた。保育者や講師に質問するだけでなく、自分で本を見て調べたり、知ったことを友達や保育者や保護者に教える姿もよく見られた。

1つのテーマから発展して子どもたちの興味が広がっていくことから、自由にのびのびと活動できるよう引き続き行っていきたい。



大好きな講師とのレッスン



国旗にはこんなに種類があるんだね



写して描いて飾るのが楽しい

まとめ

英会話レッスンで、国によって食べ物や祭りや遊び方が違うことを取り上げて見せてもらったことで、文化の違いに気づき、視野を広げられた。その中でも国旗というデザインに着目して、色や形の違いを主体的に気づいていけたことは造形活動や洞察力の向上や、世界の大きさを知ったり、行ってみたいなどあこがれを持ったりするきっかけとなった。



とうきょう すくわくプログラム 2025年度活動報告書



テーマ【 葉っぱは生きてる 】

設定した理由・背景

冬の間葉を落とし枝だけになっていた部屋から見える木々に、暖かくなってくると新緑が芽生え始めたことで、その変化や美しさ・木々が季節を感じていることなどに気づいて感動する姿があったので、身近な植物の探求をしてみようと思った。

用意した環境設定

顕微鏡・図鑑・画用紙・鉛筆

活動のあゆみ

- ・4～5月 散歩や窓から見える木々の変化を毎日眺める。
- ・6月～あじさいの花・葉っぱの発見、製作
- ・8月お泊り保育での園外保育にて森の探索
- ・9月 植物を使った製作

✧探究活動の実績✧

①季節ごとの植物の姿の変化に興味をもつ姿から身近な自然をテーマに設定した。

桜の満開→散る→新緑の芽生えを発見した子どもたちは、時間が過ぎていくと姿が変化していくことを発見。

「色が違うね」「葉っぱが増えたね」などと変化を楽しみにする様子もあり「どう変化するんだろう」という疑問も生まれた。

②採取した植物を観察できるよう図鑑や顕微鏡を準備した。自由に使用できるよう保育室の身近な場所に置きいつでも使用出来るよう環境を設定した。それにより戸外活動で見つけた植物を帰ってきてすぐに調べる姿がたくさん見られた。

③園庭にある植物が何かを図鑑を使って調べた。葉がつき、紫陽花の花が咲いたことで「これはあじさいだったんだ」と花の名前と実物が結びつき、顔より大きな葉っぱや花に驚く姿があった。観察した紫陽花を残すためにデッサンや押し花に挑戦するし記録した。

キャンプ村での活動では、園庭や公園にある植物と山にある植物の種類や見た目の違いを観察した。何の植物があるのか、大きさ、葉っぱの形など様々なことに興味を持ち調べる姿があった。山で採取した葉っぱを顕微鏡で観察、葉脈や繊毛と初対面。「すごい」「むしみたい」と、生きていることを実感している様子。

④採集した葉っぱを使って御守りを製作しプレゼントとして敬老の日に渡し活動の記録として報告した。

子どもたちの興味は小さなことから発展するため、自由に活動が出来るよう環境設定も工夫し子どもたちにとってわくわくする活動になった。



あじさいで作った押し花アート



森の散策



顕微鏡で植物観

まとめ

季節の変化を肌や目で見えるもので感じていた子どもたちは、植物にもその力が備わっていることを知り、自然界のすごさや未知の部分を感じていた。場所によって違う種類の植物があること、季節によって色や大きさが変わることなど、活動を通して様々な変化と違いを知ることが出来た。

押し花として残せることも経験することで、命のつながりや大切さも感じられた活動だった。



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

小平一橋学園雲母保育園



テーマ【甘さが変わる？～食べ物不思議～】

設定した理由・背景

給食時に食べるのが早い子遅い子残してしまう子など様々な子がいる中で「甘い」「酸っぱい」など感想も違い、食材というものに興味を持ち、自ら調べ『食』を楽しいもの、必要なものということを子どもたちに感じてもらう食への意欲を掻き立ててほしいと思った為。

用意した環境設定

プランター6個、土、肥料、糖度計4つ、シャベル10個、じょうろ4個、植木鉢8個
苗（トマト2個、なす2個、ピーマン2個、パプリカ2個、レモン1個、ミント2個）

活動のあゆみ

5月上旬 苗購入

5月～ 苗植え、種植え、水やり、観察

食材の時期に合わせて収穫

収穫でき次第給食で食べたり、調理過程や食材の種類によっての糖度の違いを調べる。

✽探究活動の実績✽

①同じ食材でも子どもたちからは「甘い」「酸っぱい」など違った感想が聞こえてくるため、子どもたちの普段の声をテーマとして設定。子どもの味覚は敏感で給食では、甘さや酸っぱさ、苦さを感じ感想を言い合いながら給食を食べることから活動を開始。

②土や苗など栽培セットを準備。食べ物を育てることから始め、普段食べている食べ物がどんな風に育っていくのかを観察するために環境を設定した。様々な野菜を用意しそれぞれ育て方の違いを感じながら、どんな味になるのか楽しみにする姿が見られた。

③自分たちで気になる野菜や果物を選び毎日水をあげ成長過程を楽しんでいく中で少しの変化に気づき、実った時には嬉しそうにする姿があった。レモンは実らなかったため、育てることの難しさ、食べ物のありがたさを活動を通して知ることが出来た。

育てた野菜を「ゆでる」「焼く」「蒸す」で甘さの感じ方の違いを食べ比べ、糖度計で図り実際にはどの野菜が一番甘いのか調べた。野菜によって数字に差があること、数値が高い野菜よりも実際に食べると、数値の低く出た野菜の方が甘く感じるなど、おもしろい発見もあった。子ども同士、「トマトの方が甘いよ」「酸っぱいと思う」と感じたことを伝え合う様子が見られた。

同じ種類の野菜でも甘さの違いがあることも分かり、どうして違うのかという疑問から、「水をあげすぎたのかな」「土が少なかったかも」と自分なりに考え、育て方を図鑑や保育者に聞いて調べる姿が見られた。

④子どもそれぞれ感想が違うことや実際に食べた感覚と調べた結果では違いがあることに気づき、食というものの楽しさを感じることが出来た。同じ野菜でも味が違うという発見が子どもたちにとっては一番の発見であり、果物はどうなんだろうと興味が発展していく様子も見られた。



野菜を育てる様子



育てた野菜を食べている様子



甘さを調べる様子

まとめ

給食中の子どもの感想から実際に育て、食べて調べることで日常の中の食事という何気ない時間が子どもの興味関心につなげることが出来た。毎日当たり前に行うことだからこそ子どもの知りたいという気持ちをより引き出す事が出来たと感じており、今後もここから食べることの大切さなどを伝えていけるようにしていきたい。



とうきょう すくわくプログラム

2025年度活動報告書

小平一橋学園雲母保育園



テーマ【音に合わせて身体表現】

設定した理由・背景

手遊びやリズム運動が好きな子どもたち、日頃から曲に合わせて踊ったり体操したりを喜んでいた。いろいろな国の文化に興味が出てきたのと同時に、外国の伝統的な曲の雰囲気も面白がる姿があり、よく聞き感じることでできる様子がありテーマを設定

用意した環境設定

スピーカー、5メートルバルーン、楽曲など

活動のあゆみ

5月～身体表現

6月～バルーンを使っての表現

7月～曲の雰囲気に合わせた振り付け

8月～様々な曲に合わせて運動活動

12月 保護者に保育参加時に披露

✽探究活動の実績✽

①手遊びやリズム運動が好きで普段から様々な動きをし、試行錯誤しながら動く姿からテーマを設定。

曲調の違いに合わせてイメージに合わせて自由に遊ぶ姿があった。

②手遊びのように体だけを動かす運動と、道具を使って動かす運動と様々な動きが出来るよう環境を設定。

手、足、体全体を使って表現したり、様々な大きさの道具を使って自由に表現する様子が見られた。

③集団での遊びの一つとして、リズム運動やダンスに親しむ。終わりの会でもやりたい子が前に出て手遊びや歌が始まる。子どもたちから自然と湧いてくる音楽があった。

色々な曲風を流すと「おばけみたい」「とんでいるみたい」などそれぞれイメージを持ち表現する姿があった。パラバルーンを使って曲に合わせた動きをしてみると、協力して作品を作るという気持ちが芽生え、子ども同士話し合い、どう動くのが良いかを試行錯誤しながら活動する様子があった。

手はどのくらい大きく動かすと良いか、ジャンプのタイミングなど話し合いながら完成させたパラバルーンを保育参加で保育者と保護者に披露し共有した。

④表現活動の中で、どうすればもっと高くジャンプ出来るか、足をきれいに動かせるようになりたい。と、理想の姿をイメージし友達や保育者にアドバイスをもらいながら活動する様子が見られた。今回の活動を通して、こんな動きが出来るようになりたい、というイメージする姿にどうなるかを考える姿も見られた。



帰りの会での表現活動



バルーンの面白さを先輩から後輩へ



外での伸び伸びとした演技

まとめ

感受性豊かな子どもたちなので、曲を聞くだけで色々なイメージがわいて、喜んで体を動かす様子が多く見られた。イメージしたことを動きで表す表現力と、協力して技を習得していく向上心や協調性を育める活動になった。